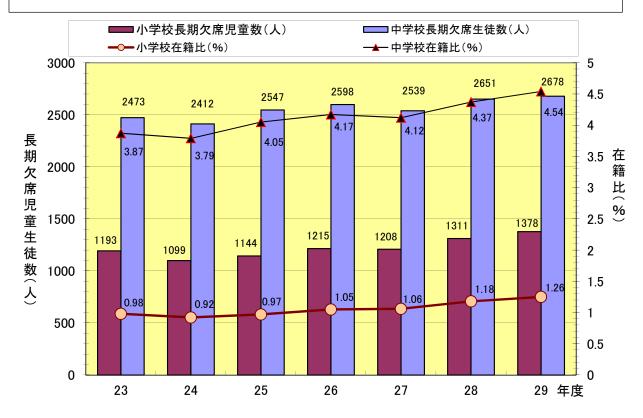
平成29年度 長期欠席の状況について

心の支援課

1 長期欠席(年間30日以上欠席)児童生徒数及び在籍比の推移(国公私立・小中学校)

28年度調査までは欠席理由が二つ以上ある(例えば「病気」と「不登校」)者は、長期欠席の区分「その他」に分類したが、29年度調査から、欠席理由が二つ以上ある場合、主な理由を一つ選び、「病気」「経済的理由」「不登校」「その他」(家庭の事情等)のいずれかに分類するよう変更になった。

長期欠席の状況の実態を把握することにより支援等につなげていくため、主たる理由を明確にするようになった。



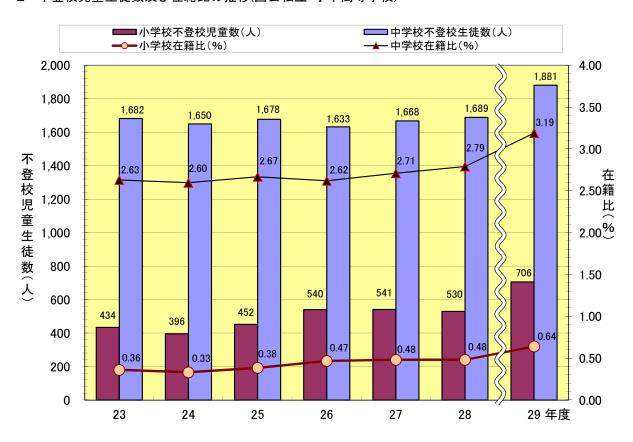
		年度	23	24	25	26	27	28	29
		合計(人)	1,193	1,099	1,144	1,215	1,208	1,311	1,378
		前年度増減	▲69	▲94	45	71	▲ 7	103	67
		病気					259	275	274
小	内訳	経済的理由					0	0	0
学 校	(人)	不登校	434	396	452	540	541	530	706
	その他 (26)						408	506	398
	在籍	県(%)	0.98	0.92	0.97	1.05	1.06	1.18	1.26
	比	全国(%)	0.79	0.80	0.83	0.88	0.96	1.03	1.12
		合計(人)	2,473	2,412	2,547	2,598	2,539	2,651	2,678
		前年度増減	▲ 90	▲61	135	51	▲ 59	112	27
		病気					440	429	483
中学	内訳	経済的理由					1	0	0
学 校	八世八	不登校	1,682	1,650	1,678	1,633	1,668	1,689	1,881
		その他					430	533	314
	在籍	県(%)	3.87	3.79	4.05	4.17	4.12	4.37	4.54
	比	全国(%)	3.42	3.42	3.55	3.61	3.79	4.06	4.31

(注)1 調査名:文部科学省「平成29年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」

:長野県調査「長期欠席児童生徒の状況報告書(年間)調査①」

2 調査対象:県内国公私立・小中学校569校

2 不登校児童生徒数及び在籍比の推移(国公私立・小中高等学校)



	年	度	23	24	25	26	27	28	29
	人	数(人)	434	396	452	540	541	530	706
小		F度増減	▲ 64	▲ 38	56	88	1	▲ 11	176
小 学 校	在籍	県(%)	0.36	0.33	0.38	0.47	0.48	0.48	0.64
	担 3	全国(%)	0.33	0.31	0.36	0.39	0.42	0.47	0.54
	人	数(人)	1,682	1,650	1,678	1,633	1,668	1,689	1,881
中当		F度増減	▲ 75	▲ 32	28	▲ 45	35	21	192
中学校	在籍	県(%)	2.63	2.60	2.67	2.62	2.71	2.79	3.19
	料比	全国(%)	2.64	2.56	2.69	2.76	2.83	3.01	3.25
	人	数(人)	2,116	2,046	2,130	2,173	2,209	2,219	2,587
合		F度増減	▲ 139	▲ 70	84	43	36	10	368
計	在籍	県(%)	1.14	1.12	1.18	1.22	1.26	1.29	1.53
	粗比	全国(%)	1.12	1.09	1.17	1.21	1.26	1.35	1.47
亭	人	数(人)	646	701	674	664	703	687	648
高等学校		F度増減	▲ 86	55	▲27	▲ 10	39	▲ 16	▲39
学	在籍	県(%)	1.07	1.16	1.14	1.12	1.19	1.17	1.11
仪	程 比 ³	全国(%)	1.68	1.72	1.67	1.59	1.49	1.46	1.51

(注)1 調査名:文部科学省「平成29年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」

² 調查対象: 県内国公私立・小中高等学校684校

[・]不登校児童生徒数は、前年度に比べ小学校176人増加、中学校192人増加、高等学校39人減少した

[・]不登校児童生徒在籍比は、前年度に比べ小学校で0.16ポイント、中学校0.4ポイント増加、 高等学校0.06ポイント減少した。

3 不登校の要因

(1)小学校(公立)

(1)	小学校(公立)										〔単位	:人、%〕
	学校、家庭	分割				学校に係	系る状況				家	左
本	に係る要因 [複数回答] :人に係る要因	類別人数 (人)	いじめ	N 問題		学業の不振	進路に係る不安	活動への不適応	をめぐる問題 学校のきまり等	適応学・進級時の不	家庭に係る状況	左記に該当なし
	分類別人数(人)	703	5	162	30	245	12	1	18	55	430	64
	割合(%)	(100)	(0.7)	(23. 0)	(4. 3)	(34. 9)	(1. 7)	(0.1)	(2. 6)	(7.8)	(61. 2)	(9. 1)
	「学校における人間関係」 に課題を抱えている	91 (12.9)	3	70	15	16	1		3	9	36	
本人	「あそび・非行」の傾向 がある	3 (0.4)	1	2		1					2	
に係る要因	「無気力」の傾向がある	174 (24.8)		17	2	75	3		2	9	136	14
要因	「不安」の傾向がある	309 (44.0)	1	65	9	115	6	1	10	32	154	37
	「その他」	126 (17.9)		8	4	38	2		3	5	102	13

・小学校の不登校の要因を「本人に係る要因」でみると、「『不安』の傾向がある(44.0%)」と「『無気力』の傾向がある (24.8%)」で68.8%を占める。「不安」の傾向がある児童のうち、この理由として「家庭に係る状況」「学業の不振」が多い。

(2)中学校 (公立) 「単位:人、%]

_												
	学校、家庭	分割				学校に係					家	左
本	に係る要因 〔複数回答〕 ・人に係る要因	類別人数 (人)	いじめ	問題 人関係をめぐる いじめを除く友	をめぐる問題教職員との関係	学業の不振	進路に係る不安	活動への不適応の不適応	をめぐる問題学校のきまり等	適応学・進級時の不入学・転編入	家庭に係る状況	左記に該当なし
	分類別人数(人)	1,853	5	556	47	762	167	71	42	181	759	151
	割合(%)	(100)	(0.3)	(30. 0)	(2. 5)	(41. 1)	(9. 0)	(3. 8)	(2. 3)	(9.8)	(41. 0)	(8. 1)
	「学校における人間関係」 に課題を抱えている	285 (15.4)	5	236	31	61	14	19	4	17	79	7
本人	「あそび・非行」の傾向 がある	39 (2.1)		3		21	1	2	15	2	28	1
に係る要因	「無気力」の傾向がある	528 (28.5)		72	6	298	39	14	7	28	270	37
要因	「不安」の傾向がある	786 (42.4)		220	9	330	102	31	14	113	242	78
	「その他」	215 (11.6)		25	1	52	11	5	2	21	140	28

・中学校の不登校の要因を「本人に係る要因」でみると、「『不安』の傾向がある(42.4%)」と「『無気力』の傾向がある (28.5%)」で70.9%を占める。「不安」の傾向がある生徒のうち、この理由として「学業の不振」「家庭に係る状況」が多い。

(3)高等学校 (公立) [単位:人,%]

	学校、家庭	Λ				学校に係	る状況					<u>/</u>
才	「に係る要因 「複数回答」 「な数回答」	分類別人数(人) 割合(%)	いじめ	問題 人関係をめぐる	をめぐる問題 の関係	学業の不振	進路に係る不安	活動への不適応	をめぐる問題 学校のきまり等	適応学・転編入の不	家庭に係る状況	左記に該当なし
	分類別人数(人) 割合(%)	506 (100)	2 (0. 4)	116 (22. 9)	5 (1. 0)	136 (26. 9)	99 (19. 6)	20 (4. 0)	17 (3. 4)	46 (9. 1)	108 (21. 3)	120 (23. 7)
	「学校における人間関係」 に課題を抱えている	85 (16.8)	2	65	3	10	6	6	6	5	6	2
本人	「あそび・非行」の傾向 がある	17 (3.4)		2		8	4		4	1	5	6
に係る要因	「無気力」の傾向がある	120 (23.7)		15	1	49	20		4	15	24	32
要因	「不安」の傾向がある	199 (39.3)		31	1	63	65	10	2	19	39	44
	「その他」	85 (16.8)		3		6	4	4	1	6	34	36

・高等学校の不登校の要因を「本人に係る要因」でみると、「『不安』の傾向がある(39.3%)」と「『無気力』の傾向がある (23.7%)」で63.0%を占める。「不安」の傾向がある生徒のうち、この理由として「進路に係る不安」「学業の不振」が多

(注1)調査名:長野県調査「平成29年度長期欠席児童生徒の状況報告書(年間)調査①」、「平成29年度生徒在籍動向等調査」その③ (注2)調查対象: 県内公立小中高等学校651校

(注3)「学校、家庭に係る要因(区分)」については複数回答。「本人に係る要因(分類)」で回答した要因の理由として考えられるものを「学校に係る状況」 「家庭に係る状況」より全て選択。なお、学校及び家庭に係る状況に当てはまるものがない場合は「左記に該当なし」を選択。

4 小中高等学校における学年別不登校児童生徒数と在籍比 (公立)



- (注)1 調査名:(注1)調査名:長野県調査「平成29年度長期欠席児童生徒の状況報告書(年間)調査①」、「平成29年度生徒在籍動向等調査」その③
 - 2 調査対象: 県内公立小中高等学校651校 高等学校の4年生、単位制の人数は除く
 - 3 学年在籍比(%)=学年不登校児童生徒数/学年児童生徒数×100
- ・不登校児童生徒数では、小学校では6年生が最も多く、中学校で3年生が最も多くなっている。
- ・不登校在籍比では、小学校では6年生が最も高く、中学校で2年生が最も高くなっている。・高等学校では、学年が上がるにつれて、不登校数及び在籍比が減少している。

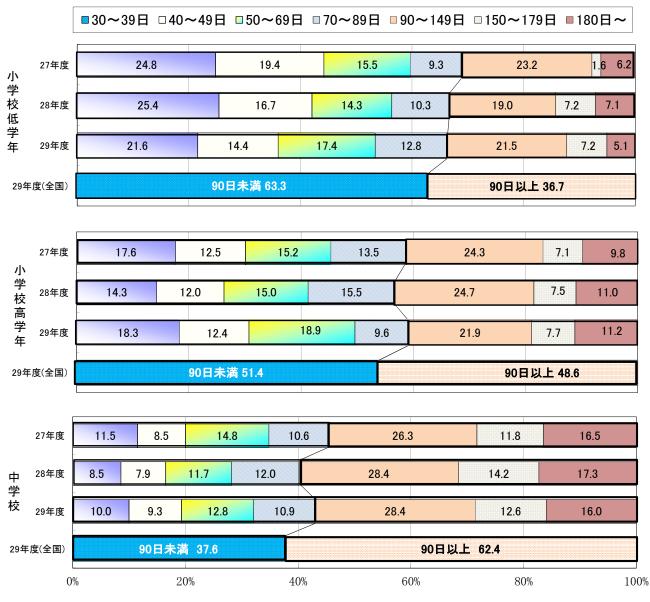
5. 児童生徒の欠席状況

(1)不登校児童生徒欠席状況(国公私立·小中学校)

		不登校	A うち,90日以上 欠席している者	B うち, 出席日数が 10日以下の者	C うち, 出席日数が 0日の者	D 県長期 欠席者数
	県人数(人)	706	274	39	12	
小学校	県割合(%)	(51.2)	(19.9)	(2.8)	(0.9)	1,378
	全国割合(%)	(48.3)	(22.0)	(3.3)	(1.3)	
	県人数(人)	1,881	1,073	160	36	
中学校	県割合(%)	(70.2)	(40.1)	(6.0)	(1.3)	2,678
	全国割合(%)	(75.4)	(47.1)	(9.5)	(3.0)	
	県人数(人)	2,587	1,347	199	48	
小中合計	県割合(%)	(63.8)	(33.2)	(4.9)	(1.2)	4,056
	全国割合(%)	(66.4)	(38.7)	(7.4)	(2.4)	

⁽注)割合(%)は、長期欠席者数におけるA~Dの割合。[A/D(%)、B/D(%)、C/D(%)] は、国と同様の計算方法。

(2)平成27年度~29年度 不登校児童生徒 欠席日数別構成比(公立)

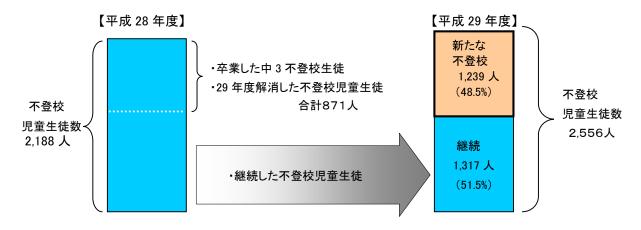


(注)調査名:長野県調査「平成29年度長期欠席児童生徒の状況報告書(年間)調査①」

(注)国のグラフは国公私立を合わせた値

6. 継続・新規不登校児童生徒数(公立)

<図1:不登校児童生徒数の構成>



<表1 小中学校における継続・新規不登校児童生徒数の推移>

(単位:人、%)

			1	ı	ı	1	ı	(単位:八、
			25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	5年間平均
	不登校児童数(A+E	3)	448	533	537	526	703	549
	前年度から継続してい	る不登校数	124	151	234	252	280	208
小学校	(A)	(構成比)	27.7%	28.3%	43.6%	47.9%	39.8%	37.9%
	新たな不登校児童数		324	382	303	274	423	341
	(B)		72.3%	71.7%	56.4%	52.1%	60.2%	62.1%
	不登校生徒数(A'+B')		1,646	1,605	1,640	1,662	1,853	1,681
	前年度から継続してい	る不登校数	874	732	922	950	1,037	903
中学校	(A')		53.1%	45.6%	56.2%	57.2%	56.0%	53.7%
	新たな不登校生徒数		772	873	718	712	816	778
	(B')		46.9%	54.4%	43.8%	42.8%	44.0%	46.3%
	不登校児童生徒数(/	A"+B")	2,094	2,138	2,177	2,188	2,556	2,231
小学校	前年度から継続してい	る不登校数	998	883	1,156	1,202	1,317	1,111
中学校	(A")		47.7%	41.3%	53.1%	54.9%	51.5%	49.8%
合 計	(A") 新たな不登校児童生徒数	徒数	1,096	1,255	1,021	986	1,239	1,120
	(B")		52.3%	58.7%	46.9%	45.1%	48.5%	50.2%

<表2 学年別継続·新規不登校児童生徒数 >

(単位:人、%)

平成 29 年度	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
学年別不登校児童生徒数	41	50	104	131	165	212	468	684	701
継続不登校児童生徒数	_	12	41	52	64	111	159	362	516
(構成比)	_	24.0%	39.4%	39.7%	38.8%	52.4%	34.0%	52.9%	73.6%
新たな不登校児童生徒数	-	38	63	79	101	101	309	322	185
(構成比)	_	76.0%	60.6%	60.3%	61.2%	47.6%	66.0%	47.1%	26.4%

(注) 1 調査名:長野県調査「平成29年度長期欠席児童生徒の状況報告書(年間)調査①」

2 調査対象:県内公立・小中学校553校

- ・平成29年度の小中学校合計における新たな不登校児童生徒数の構成比は48.5.%である。(平成28年度より3.4%増)
- ・学年では、小学校2年生が76.0%、中学校では1年生が66.0%で最も高くなっている。

7 現状と取組の方向性

- (1) 現状
 - ・平成29年度長期欠席児童生徒は、小学校・中学校で増加
 - ・不登校児童生徒数は小学校・中学校で増加、高等学校で減少
 - ・不登校在籍比は小学校・中学校で増加、高等学校では減少
- (2) 取組の方向性 ~ 「長野県子ども・若者支援総合計画」に基づく包括的な支援~

『不登校未然防止および不登校児童生徒への支援のための行動指針』(平成30年3月)に基づき、個々の不登校児童生徒(長期欠席児童生徒)の状況に応じた必要な支援を推進する。

【「新たな不登校を生まない」という視点に立った教育実践の見直し】

- ⇒ 安心・安全な「楽しい学校」づくり
- (1)すべての子どもにとって「自分の居場所」がある学校づくり
 - ・一人ひとりの児童生徒がよさや個性を生かして活躍できる場や機会の設定
- ②一人一人の子どもが生き生きと学ぶ授業づくり
 - ・授業のユニバーサルデザイン化により個人の持っている力が発揮できる授業
 - 「授業がもっとよくなる3観点」を意識した「分かる」授業
- ③児童生徒理解の推進
 - ・子どもの立場からの客観的かつ総合的に情報を整理
 - ・組織として過去の欠席状況等の把握を徹底
- ④学校における相談体制の構築
 - ・子どもが安心して SOS を発信できる仕組作り
 - ・スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等によるスクリーニング等、早期発見・早 期支援の取組
- ⑤インターネット適正利用の推進
 - 「インターネットの安全な利用に関する共同メッセージ」等活用した情報モラル教育の推進
 - 「青少年インターネット適性利用推進協議会」による適正利用の推進

【不登校が長期化している児童生徒の社会的自立に向けた支援の充実】

- ⇒ それぞれの居場所での支援、「学び」の確保
- ①個々の児童生徒に応じた支援、家庭への支援
 - ・「教育的」「心理的」「福祉的」視点からの適切な支援
 - ※スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの支援拡充(心の支援課)
 - ※「子ども・若者支援地域協議会」での関係機関による連携した支援(次世代サポート課)
 - ※生活困窮家庭の不登校等の子どもへの学習支援(地域福祉課)
 - ※「信州子どもカフェ」での支援(こども・家庭課、次世代サポート課)

※要保護児童対策地域協議会の活用

- ②多様で適切な教育機会の確保
 - ・中間教室(教育支援センター)の機能強化。中間教室からのアウトリーチを進め、地域における 不登校児童生徒支援の中核的役割へ
 - ・フリースクールを運営する民間団体との情報連携(次世代サポート課、心の支援課)
- ③切れ目ない情報共有と支援
 - ・関係機関との情報共有、学校間の引継ぎ
 - ・「児童生徒理解・教育支援シート」の作成による切れ目ない情報共有

『不登校への支援について考える』(不登校への対応の手引 改訂版)の活用の推進

・自校における不登校支援の課題について整理し、児童生徒の実態にあった支援。本手引を活用し各 校での研修を実施

〔資料〕 市郡別不登校児童生徒数在籍比の推移及び29年度長期欠席者数在籍比

28年度調査までは欠席理由が二つ以上ある(例えば「病気」と「不登校」)者は、長期欠席の区分「その他」に分類したが、29年度調査から、欠席理由が二つ以上ある場合、主な理由を一つ選び、「病気」「経済的理由」「不登校」「その他」(家庭の事情等)のいずれかに分類するよう変更になった。

心の支援課

			小	学校	市郡	別							中	学校	市郡別	ij	IJ			
				不	登校			長期	欠席					不登	校			長期	欠席	
番号	年度	27:	年度	284	丰度	294	年度	294	丰度	番号	年度	27年	F度	284	丰度	294	年度	294	年度	
	市郡	人数 (人)	在籍比(%)	人数	在籍比	人数	在籍比	人数	在籍比 (%)		市郡	人数 (人)	在籍比							
1	小諸市	7	0.32	7	0.31	12	0.54	50	2.25	1	小諸市	35	2.96	44	3.87	53		81	7.36	
2	佐久市	30	0.56	32	0.61	40	0.76	62	1.18	2	佐久市	55	2.07	56	2.07	96	3.61	118	4.44	
3	上田市	40	0.47	41	0.49	35	0.43	110	1.34	3	上田市	130	3.00	131	3.01	128	2.99	195	4.56	
4	東御市	6	0.37	4	0.25	5	0.31	12	0.75	4	東御市	23	2.62	28	3.19	25	2.94	30	3.53	
5	伊那市	37	0.94	10	0.26	14	0.37	40	1.06	5	伊那市	38	1.85	41	1.99	53	2.60	73	3.58	
6	駒ヶ根市	9	0.48	2	0.11	4	0.23	11	0.62	6	駒ヶ根市	24	2.36	33	3.25	31	3.19	54	5.56	
7	岡谷市	1	0.04	2	0.07	13	0.50	30	1.15	7	岡谷市	12	0.82	9	0.67	37	2.83	69	5.28	
8	諏訪市	12	0.45	9	0.35	8	0.31	31	1.22	8	諏訪市	28	2.07	24	1.81	16	1.27	76	6.02	
9	茅野市	2	0.06	1	0.03	21	0.70	53	1.76	9	茅野市	10	0.60	8	0.49	59	3.69	89	5.57	
10	飯田市	32	0.57	33	0.59	34	0.62	73	1.33	10	飯田市	70	2.27	92	3.05	88	3.02	141	4.84	
11	松本市	88	0.69	87	0.68	121	0.96	166	1.32	11	松本市	235	3.70	242	3.95	258	4.34	323	5.44	
12	塩尻市	14	0.40	28	0.82	20	0.58	49	1.43	12	塩尻市	38	2.09	57	3.16	45	2.57	86	4.92	
13	大町市	10	0.76	7	0.57	12	1.03	14	1.20	13	大町市	19	2.49	29	3.78	44	5.99	49	6.67	
14	安曇野市	23	0.44	28	0.55	33	0.66	69	1.37	14	安曇野市	93	3.24	72	2.55	76	2.78	94	3.44	
15	長野市	97	0.48	75	0.38	139	0.71	221	1.13	15	長野市	328	3.24	285	2.85	312	3.17	467	4.75	
16	須坂市	11	0.40	9	0.33	17	0.63	25	0.92	16	須坂市	59	3.92	42	2.82	40	2.93	61	4.46	
17	中野市	8	0.33	6	0.26	12	0.52	20	0.87	17	中野市	39	2.78	42	3.15	41	3.27	49	3.91	
18	飯山市	2	0.19	8	0.80	3	0.31	6	0.63	18	飯山市	6	1.03	6	1.05	11	2.05	12	2.24	
19	千曲市	10	0.32	16	0.52	17	0.57	22	0.74	19	千曲市	51	2.92	50	2.89	61	3.64	69	4.11	
20	南佐久郡	2	0.17	4	0.36	9	0.81	17	1.52	20	南佐久郡	12	2.31	11	2.20	3	0.66	6	1.31	
21	北佐久郡	21	0.92	16	0.72	20	0.91	62	2.83	21	北佐久郡	31	2.78	39	3.62	47	4.41	68	6.38	
22	小県郡	0	0.00	1	0.20	1	0.21	3	0.62	22	小県郡	2	1.33	2	1.48		(非:	公表)		
23	上伊那郡	20	0.43	27	0.58	25	0.54	40	0.86	23	上伊那郡	85	3.45	85	3.52	75	3.18	79	3.35	
24	諏訪郡	4	0.18	12	0.54	18	0.83	42	1.94	24	諏訪郡	20	1.87	27	2.47	41	3.83	61	5.70	
25	下伊那郡	22	0.64	26	0.78	31	0.95	47	1.43	25	下伊那郡	56	3.02	59	3.20	72	3.99	91	5.04	
26	東筑摩郡	7	0.62	4	0.38	4	0.38	12	1.15	26	東筑摩郡	1	0.89	3	3.06	4	4.30	5	5.38	
27	木曽郡	11	0.92	11	0.93	9	0.78	16	1.39	27	木曽郡	27	4.08	24	3.82	30	4.77	36	5.72	
28	北安曇郡	4	0.26	7	0.46	12	0.82	24	1.64	28	北安曇郡	21	2.36	20	2.25	16	1.91	24	2.86	
29	埴科郡	2	0.25	1	0.13	3	0.40	5	0.67	29	埴科郡				(非公	(表)				
30	上高井郡	2	0.19	4	0.39	3	0.31	4	0.41	30	上高井郡	5	0.97	7	1.34	11	2.14	11	2.14	
31	下高井郡	0	0.00	1	0.11	2	0.23	9	1.03	31	下高井郡	12	2.25	14	2.64	13	2.66	16	3.27	
32	上水内郡	3	0.31	7	0.73	6	0.63	21	2.22	32	上水内郡	16	2.68	17	3.13	12	2.32	19	3.68	
33	下水内郡				(非:	公表)				33	下水内郡				(非公	(表)				
	長野県	541	0.48	530	0.48	706	0.64	1,378	1.26		長野県	1,668	2.71	1,689	2.79	1,881	3.19	2,678	4.54	
- クア	在籍比(%)		42		47		54	1,378		-	在籍比(%)	2.8		3.0			25		31	

※調査名:長野県調査「平成29年度長期欠席児童生徒の状況報告書(年間)調査①」 ※平成30年4月1日現在の市町村の区割りとする。 ※市郡別数値は、組合立学校及び県立中学校、国立・私立を除く。 ※長野県数値は、国立・私立を含む。